

# 地域の課題をとらえて

## 2氏が一般質問



見 悟 鷺 賀

Q、国保税の引き上げには反対です。  
A、今年度は73万円に引き上げたい



賀 弘 孝 齊

Q、TPP参加どう思う  
A、重大な問題と考える

**質問** 幌延町の国保会計はかなり良い。国保基金も6千7百万円程ある。上げる理由がない。

**町長** 国において一律に上限が決められている。73万円に設定したいと考えている。

**質問** 国の補助率が45%から38.5%へ下がった。介護保険と後期高齢者制度へ移行。実質的には年々負担は増えている。

**町長** 最高限度額を上げることは、結果的に中間所得層や低所得層に軽減となる。

**質問** 国保会計は町村単位で幌延町は収納率も良くよくやっている。国民皆保健としてスタートした国保は最高限度額の問題だけでなくいろいろな分離され(介護後期高齢者)381世帯でやっている。一時的に下がったとしても(平均値)トータルでは上がっている。

**町長** 幌延町の国保会計はいい状況で推移している。所得割、資産割、平等割も他町村から見ると、半分以下、或いは3分の1程度と

いうこと。負担も軽くなった。

**質問** 国保税が町村におけるバラツキがあることは事実。思い切って資産割をなくすことを考えてはどうか。

**町長** 税率については23年度に考えてはいない。

**質問** 国保加入者も変化して来ている。2割5割7割の軽減措置があったとしても2百万円の所得では大きな負担になると思うが。

**会計課長** 国保は何か病気になった時に加入者全体で平均して負担しているというのが目的です。農家ですと、資産割の率を下げたので最高限度額は6件程となっていて。税納期が6期にしている。固定資産をなくすと増減幅が大きくなる可能性もある。

**質問** 町議会で触れることが出来るのが国保税だけなものですから、あえて触れさせてもらった。ナシヨナルミニマム(地域合意)を訴えたい。

**質問** TPP交渉参加問題をどのよう受け止めているか。

**町長** 農業への影響が極めて大きいと認識している。

**質問** もう少し突っ込んだ回答がほしい。基幹産業の酪農の役割は何か。

**町長** 大変な重大な問題と受け止める。JAと町が一体となってこの問題に取り組んで参る。そして、要請行動にも積極的に参加する。

**質問** 幌延町地域の損失額は、町長 本町独自に試算してないので把握してない。

**質問** 町民の方にも知っていただこうと思ったのに、損失額も分からない。なぜ出せないのか。

**町長** 分かり次第に議会に報告する。

**農業委員会会長** JA幌延町の試算では23億。一次産業の町全体として想定して概ね百億を越すんじゃないか。実現されたら、一戸も営農存続できない。

**質問** 幌延町の酪農家が生き残って行く道は。

**町長** 問寒別でTMRセンターができ、酪農家9軒は規模も大きく、乳量も相当増えた。TMRセンターで言えば、将来に向けての酪農家の道標、明るい兆しができると思う。

**質問** コントラ、農業生産法人などの研修会を町長が中心となり近隣町村に働き掛けできないのか。時期を見計らってでなく、次年度の予算に向けてやっていけないか。

**町長** 担い手センター実習生受け入れも町と農協がタイアップして事業推進して。農協から計画をもって、事業を興したいんだという事があれば、町として自身を検討し、協力させて頂くという事は再三再四言っている。

**質問** TPP問題をきっかけに、三期目の宮本町長のリーダーシップは大きい。第一次産業関係者の不安を和らげてほしい。

**町長** 私も更に農協さんと連携を図って基幹産業酪農を守る。